

金賞 中山 琴未君

北海道芸術デザイン専門学校建築士専攻 「Interaction Line」

Interaction とは、相互作用という意味である。この帯が全体をつなぎ、それぞれのファシリティを連結していく。このプロジェクトは町おこしを兼ねている。考えられる全ての関係の成立をこの建築にこめている。なんと気持ちのよい事だろう。人と人との関係、雪と街、道と建築、文化と人、季節と人、残すという事と伝えるという事、これらは全て「心」を介在とする。建築というのは本来そうだったはずだ。多才なスケッチは更に我々を刺激して止まない。

(文責：中山 眞琴)

